

生徒心得

服装の心得

1. 制服

本校生徒は常に高校生にふさわしい、質実、端正、清潔な服装を心掛けること。

① 夏季 男子……白の襟付きシャツ・指定の黒ズボン

女子……白の襟付きシャツ・指定のスカート(指定のズボンはオプションとする)

② 冬季 男子……指定の詰め襟学生服・指定の黒ズボン・白の襟付きシャツ

女子……指定のブレザー・指定のスカート(指定のズボンはオプションとする)・白の襟付きシャツ

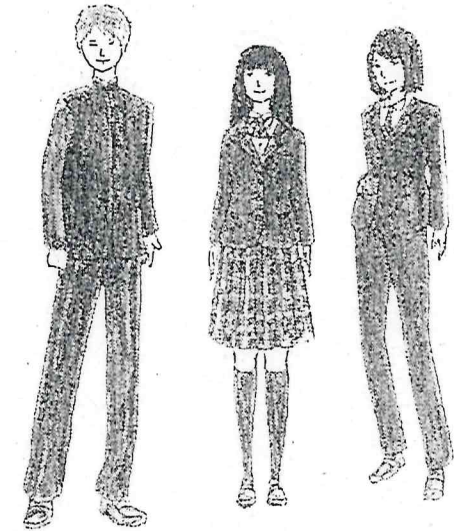
本校の生徒は、登下校の際制服を着用すること。

注意事項

- ・女子は、指定のリボンまたはネクタイを着用すること。(正装時スカートにリボン、スラックスにネクタイを着用すること)
- ・スカートの丈は、できあがりの長さから変更し

ないこと。(加工した場合、再度購入してもらう。)

- ・トレーナー、パーカーは禁止する。
- ・ベスト、カーディガン、セーターを着用する場合は、無地、柄なしで、色は黒・紺・白・グレー・茶・ベージュとする。



2. バッジ

本校生徒は所定の位置に校章をつけること。

- ① 夏季 左胸(アイロンプリントでの代用可)
- ② 冬季 左襟

3. 身だしなみ

本校生徒は、不必要な頭髪の染色・脱色・加工をしてはならない。

4. 運動服装は学校所定のものとする。

履物の心得

- 1. 履物については次の諸点を守る。

- ① 上履は学年ごとに色分けした所定のものを使用すること。
- ② 上履を下履に使用してはならない。
- ③ 体育館は所定の専用靴を用いる。体育館用靴は他に流用してはならない。
- ④ CALL教室は専用の上履を用いる。

登校下校の心得

1. 始業5分前までに登校し午後4時50分までに下校する。
2. やむを得ない事情で下校時刻以後居残る時は、所定の下校延長届用紙（生徒部の係が所持）に必要事項を記入の上、事前に指導の先生の承認を得て日直の先生に届け出る。居残る生徒はかならず先生の指導監督をうける。ただし定時制運営の妨げになってはいけない。
3. 休日には原則として登校できない。登校する必要がある時は、所定の休日登校届に必要事項を記入し、関係の先生の承認を得て、生徒部係に提出する。
4. 部外者の同伴は、たとえ休日であっても、必ず事前に責任担当教員の許可を必要とする。
5. 自動車およびオートバイの通学は禁止する。
学校行事の集合地、他校へ試合などの場合も同じ扱いとする。

出席・欠席に関する心得

1. 欠席・遅刻・早退・欠課・外出の場合は、あ

らかじめ明らかな場合は事前に届け出る。
なお、当日の欠席・遅刻の場合は、

8:00から8:20までに

保護者が学校に連絡する。

遅刻……授業中の場合は教科担任の指示に従う。

同一科目の3回の遅刻は、その科目の1時間の欠課に換算される。始業時刻を15分経過した場合は欠課となる。交通機関の遅延による遅刻は概ね15分以上の場合に認める。その際は、原則として遅延証明書を提出すること。

外出……外出する時は、生徒手帳諸届欄に必要事項を記入し、ホームルーム担任または同学年の担任の許可を受ける。なお、原則として終業時までの外出は認めない。

欠席……(1) 欠席の場合は当日中に電話などによって連絡する。その後、はじめて登校するとき、保護者から生徒手帳の諸届欄に欠席の届けをホームルーム担任に提出する。

(2) 長期欠席の場合は随時その状況をホームルーム担任に届け出る。

(3) 感染症発生または予防のため、あるいは天災・事故により欠席した時は至急学校に連絡する。

忌引……次の日数は忌引として生徒手帳の諸届欄によって届け出る。

- (1) 父母7日
- (2) 祖父母，兄弟姉妹3日

- (3) 伯叔父母1日 (4) 曾祖父母1日
2. 休学……病気により休学する者は医師の診断書を添えて常備の所定用紙に記入しホームルーム担任を通して願い出る。快癒して復学する場合もこれと同様である。
3. 遅刻・早退・欠課が長期にわたる場合はあらかじめ欠席届の書式に準じてホームルーム担任に届け出る。

アルバイト

アルバイトは原則禁止。家庭の事情によりどうしてもアルバイトに従事する必要がある場合は、担任に申し出ること。